

平成 22 年 (2010 年) 8 月 2 日

台北駐日経済文化代表処

代表 馮寄台先生

日本李登輝友の会

会長 小田村 四郎



中学校地図帳に関し文部科学省に対する誤記訂正のお願い

謹啓 猛暑の候ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

さて、外登証問題など日本における台湾正名運動に取り組んできた本会は、数年前からその一環として、日本の百科事典や中学校の社会科地図帳などで台湾が中国領などと表記されていることについて、誤記訂正活動を展開しています。

今年は中学校教科書の検定年に当たっていることもあり、去る 7 月 21 日、文部科学省に赴き、川端達夫・文部科学大臣宛に「中学校社会科地図帳の記述内容に関する訂正要望書」を手交して参りました。このことは台湾メディアでも報道されたのでご存じかもしれませんが、ここにその「訂正要望書」を同封いたします。

私どもの訂正要望のポイントは、大きく分けて次の 2 点となります。

1 点目は、台湾が中華人民共和国の領土として表記されていることです。

台湾の太平洋側に国境線を引いて、台湾が中華人民共和国の領土に組み込まれた表記をしていることや、中華人民共和国の国土面積に台湾の面積を加えていることです。中華人民共和国は一度も台湾を統治したことはありませんし、現在も台湾は中華人民共和国の領土ではありませんので、その誤りを指摘しています。

2 点目は、日本の領土だった台湾について「1945 中国へ返還」と表記していることです。

なぜ誤記かと言いますと、理由は簡単です。日本が 1945 年に中国へ台湾を返還していたなら、その後のサンフランシスコ平和条約で台湾を放棄できないからです。平和条約締結の時点まで、法的に台湾が日本の領土と国際的に認められていたからこそ「放棄」が成立するのであり、「返還」した領土を「放棄」することはあり得ません。これは日本の外務省も認める明白な誤りです。

そこで思い出されるのは次のことです。米インターネット検索最大手のグーグルは、地図サービスの中で台湾の説明を「台湾、中国の省」と表記していましたが、2005 年 10 月、台湾当局が抗議したことにより「台湾」という表記に修正しました。5 年経った現在、政権こそ変わりましたが、このような台湾政府の基本認識には些かの変化もないことを確信しています。

つきましては、馮寄台代表におかれては、日台交流の将来を担う約 120 万人の中学生が台湾に関して誤った知識を学んでいる深刻な事態に鑑み、文部科学省に対してこの地図帳の誤記訂正を求めていただきますようお願いいたします。 謹白